

# Counseling Room

家庭問題カウンセリングルーム

第118回

公益社団法人  
家庭問題情報センター 荒又 和子

## 突然の長女の変貌に戸惑う父母のケース

A 夫さん、B 子さんご夫妻は、連れ立って相談に訪れました。大事に育ててきた長女（以下C 子さんと記載）の態度が急変して、A 夫さん、B さんは非常な衝撃を受け、考えても理由らしいことが思い当たらないので、戸惑っているということでした。仲の良い、お似合いのカップルというのが第一印象です。B さんが話すと、A 夫さんはメモを見て、日時の修正をしたり、追加説明をするなど、息もぴったりでした。

### カウンセラー（以下カ）

お嬢さんのC 子さんの態度が急変した、それは心配ですね。

どのように態度が変わったのですか。

**B 子** C 子が結婚してからも、その夫共々、当然、今までのような親密な往来が続くものと考えておりました。しかし、食事に誘っても理由をつけて断られることが多くなり、そのうち、「もう誘わないで」と言われてしまいました。私たち夫婦は、どうしてなのかわからず、様々な機会を見つけては、呼び掛けを続けましたが、態度は変わらず、そのうち何の連絡もないまま、住んでいたマンションまで引っ越していたこ

とが分かりました。

**カ** それは、ショックですね……。

C さんは、どんなお子さんだったのですか。

**B 子** 結婚までは親元で生活しており、勉強をよくして成績も良く、素直で柔順、反抗期らしいこともない子どもでした。大学在学中に資格を取得して、資格を生かした職に就き、結婚後も働いています。

私の友人からは、子育ての成功例として羨ましがられていたのに、この変貌は、一体どうしたことでしょう。

**カ** B 子さんは、子育てに一生懸命力を注いでこられたのでしょうか。

**B 子** 私は専業主婦でしたので、子育てと子の教育が自分の仕事と考えていました。教育にも落ち度がないよう、危険な目に遭うことがないようあれこれ気を遣って、母親が盾になって守ってきたつもりです。

**カ** C 子さんにはどんなふう映っていたのでしょうか。

**B 子** そうですね。私は、C 子の心配をしてあげると、災難も子どもを避けて通ってくれるおまじないのような気持ちで、結構口うるさく注意してきたように思います。

でも、C 子がある程度大きくなってから、「お母さんは、私の友だちを

悪く言う」とか、「お母さんは、自分が安心したくて注意しているだけ」と言われて、多少反省したこともありましたが、深刻な問題とまでは思っていないでしたね。

**A 夫** 私は妻が子育てに力を注いでくれていることに安心していました。私の役目は社会のルールを教えることだと思つて、機会がある毎に話をしてみました。

**カ** C子さんのお仕事は、C子さん自身で決めたのですか。

**A 夫** 私のアドバイスです。

女の子ですので、資格のある仕事のほうがやりがいがあるのではないかと思つたのです。

**B 子** 実際に就職のことを考えるようになって、先輩たちの様子を見て、自分で考えた部分もあるように思いました。

私たち夫婦は、C子の行く末について、多少先取りして注意してきたことがあったように思います。その点は反省していますが、まさか私たちに黙って引越しをするようになるなんて……。

**A 夫** なぜこんなことになつたのか、

二人で話し合いました。ここまで酷い仕打ちを受けることはしていないという結論に達しています。

**カ** C子さんも苦しいでしょうね。

**A 夫・B 子** えっ!! (同時に)

**カ** C子さんは、今、親離れしなければならぬと思う何かを感じておられるのではないのでしょうか。

婚家の親子関係に接したとか、異なる価値観で問題の解決を迫られているとか、父母ならこう言うであろうことは分かつて、それでは解決にならないとか、内容は分かりませんが、自分の無力感に直面しているのではないかと思うのですが。そして、これまで親に支配されてきたと感じておられるのではないのでしょうか。

いかがですか。

**A 夫・B 子** そうかもしれないですが、そんなことなら、きちんと言ってくれば済むことですよね。何も、あんな酷い態度をとらなくても……。

**カ** ご両親が余りにも意気投合しておられて、ある意味では反論できないことは分かっておられると思うのです。

でも、今、親から自立する、親ときちんと決別をしないと、また両親に引

きこまれるという不安が強いのではないのでしょうか。そのために必死で、ゆとりがないのかもしれないね。

先程C子さんも苦しいでしょうねと申し上げたのは、そんなことを感じただからです。

**A 夫・B 子** どうすればいいのでしょうか。

**カ** お二人が、親としての生活ではなく、個人としての生活にメインを移し、子に頼らない生き方を探されたらいいのではないかと思います。C子さんの親離れと、お二人の子離れの競争だと思つたらいかがでしょう。

双方が自立できたら、「いつでもいらつしやい」という本当のメッセージになるのではないかと思います。

……

カウンセリングをとおして、お二人は、「我々がC子に頼っていたのか」と話されるようになり、悩みは続くものの、少し角度を変えた生き

方も必要かもしれないねと話される様子なども見られ、希望も持てるのだと感じられたようでした。

